

クオリティインディケーター(QI)成果報告

〔放射線治療科〕

指標名

有痛性骨転移に対する初診のうち、
早期(3 診療日以内)に 3D-CRT で放射線治療が開始された割合

目標・ゴール

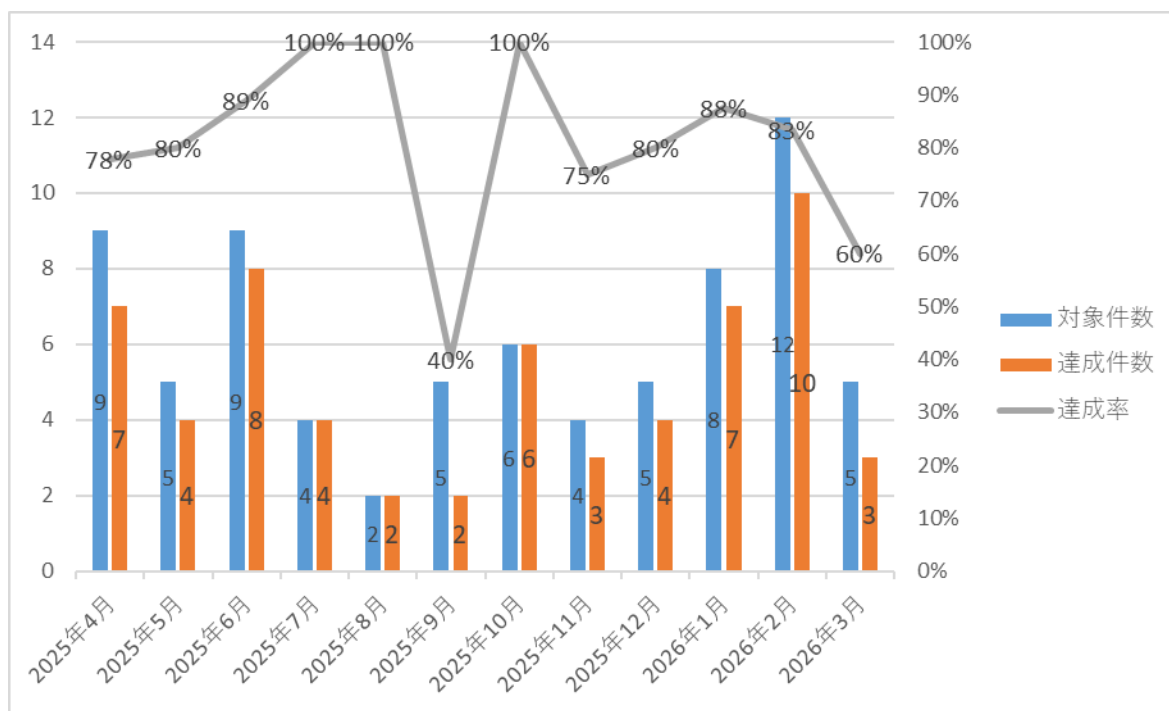
- ・ 有痛性骨転移患者へ速やかに放射線治療を提供する。
- ・ 初診から 3 診療日以内に放射線治療が開始された割合を 95% 以上にする。

目標・ゴール達成による効果

- ・ 有痛性骨転移患者へ速やかに放射線治療を提供する。
- ①待機時間、②在院時間(入院の場合)の短縮を図るとともに、土曜日の開院日を有効活用する。
- ・ 職員のモチベーション向上を図る。
- ・ チーム医療(医師、看護師、診療放射線技師、医学物理士、受付事務)を更に推進する。

目標・ゴールに対する成果の状況

- ・ 月別達成率の平均:81 %



目標・ゴール達成度

- S :大幅に目標を上回った
- A⁺:目標を多少上回って達成
- A :目標を達成
- B⁺:目標を少し下回った
- ☑B :目標を下回った
- C :目標を大幅に下回った
- ー :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

初診から3診療日以内の照射開始率 95%以上を目標としたが、実績は81%であり、診察・治療予約枠の不足や業務負荷の増大により目標達成には至らなかった。

次年度は、予約枠の運用改善に加え、診療科間の情報共有や早期紹介体制の強化を進め、放射線治療へのアクセス向上を図るとともに、待機期間の要因を解析し、持続可能な診療体制の構築につなげる。